

# いずみHD

## 仮想空間に卸売市場

仮想市場「日本卸売市場」の説明を受ける「和処さくら」の店主、佐々木伸也氏(札幌市)

インターネットの動画配信「ユーストリーム」に映し出される北海道の雄大な景色。畑で生産者が道産ジャガイモ「きたあかり」を収穫している。撮影者が価格を尋ねると「1キロ当たり1000円ですね」と答える姿が映し出された。業務用食品卸、いずみホールディングス(札幌市)が運営する仮想市場「日本卸売市場」の「セリ場」の一場面だ。

### 水揚げ前に予約

サイトに登録した飲食店は午前11時に始まる生鮮商品のセリに参加できる。生産者の生中継動画などを参考に希望数量を打ち込み、大量購入時は電話での交渉も可能。商品は道内なら夕

### 気鋭のベンチャー

《企業概要》  
 2012年  
 北海道札幌市西区二十四軒1条1の3の5  
 生鮮食品卸売業  
 約30億円 (2015年1月期)  
 60人

▽設立地  
 北海道札幌市西区二十四軒1条1の3の5  
 生鮮食品卸売業  
 約30億円 (2015年1月期)  
 60人



## 飲食店と生産者結ぶ

方には店に届く。日本卸売市場にはバイヤーが推薦する目玉商品のセリ以外に2つの機能が「産地予約」。飼育中の畜産物や水揚げ予定の水産物を事前予約し、約束の出荷日以降に受け取れる。

### 中間流通簡素に

04年、25歳のときに、水産卸のいずみ(札幌市)を設立した。ススキノで飛び込み営業を続け、5年で500店まで売り先を増やした。その後、肉や野菜など消費者を直接結びつけた。その後の、間の卸売市場なら、生産者間を直接結ぶことが、消費者を直接結びつけた。その後の、間の卸売市場なら、生産者間を直接結ぶことが、消費者を直接結びつけた。

### キーワード

鮮品の中間流通 生産者の流通過程は複雑だ。水産物の場合、港で水揚げされた魚介類は市場に出荷され、卸売業者によってセリにかけられる。セリに参加する卸業者は卸から相対で買い付ける場合もある。仲卸業者は魚介類を市場内の店に運び込み、小売店や飲食店に販売する。中間業者が増えれば、その分小売店や飲食店のコスト負担が高まるため、産地と直接取引する事業者が増えている。新鮮な商品を安定的に確保しようとする生産に乗り出す事例もある。

# 北海道

札幌 011-281-3211  
旭川 011-332-4181  
函館 011-332-4181  
川 011-332-4181  
路 011-332-4181  
011-332-4181  
011-332-4181  
011-332-4181  
011-332-4181  
011-332-4181